



2026 年 7 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社フライングガーデン
代 表 者 名 代表取締役社長 野 沢 卓 史
(スタンダード・コード 3 3 1 7)
問 合 せ 先 常務取締役 片 柳 紀 之
営業支援本部長
(TEL : 0 2 8 5 - 3 0 - 4 1 2 9)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、2026 年 7 月 13 日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、改めて当社の現状を評価・分析し、改善に向けた方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状評価

当社の資本コストは現状 5～6%前後と認識しており、現在のところ ROE が資本コストを上回って推移しておりますが、恒常的に ROE8%以上、中長期的には 12%以上が継続できるよう収益性の向上を目指します。

PBR につきましても 1 倍を超えておりますが、さらなる向上を目指してまいります。当社としては、ROE 及び PBR の改善は成長戦略と収益性の向上を両輪と考え、さらなる強化を図ってまいります。

また、機関投資家とのミーティング等で、当社株式の流動性の低さが指摘されたことから、流動性の向上を進めてまいります。

	第 4 1 期	第 4 2 期	第 4 3 期	第 4 4 期	第 4 5 期
	2022/3 月期	2023/3 月期	2024/3 月期	2025/3 月期	2026/3 月期
売上高（千円）	6,490,932	7,236,082	7,785,235	8,265,549	9,200,071
経常利益（千円）	632,966	571,686	576,999	589,209	633,340
当期純利益（千円）	345,027	291,722	396,459	352,141	454,712
売上高対経常利益率	9.8%	7.9%	7.4%	7.1%	6.9%
ROE（自己資本利益率）	15.8%	11.8%	14.3%	11.3%	13.1%
PBR（株価純資産倍率）	1.04	1.07	1.43	1.16	1.22
一株当たり純資産（円）	810.18	896.1	1,020.76	1,127.59	1,269.91
期末株価（円）	841	959.5	1,459	1,307.5	1,544
一株当たり配当金（円）	30	25	30	30	18
（分割後換算）	(15)	(12.5)	(15)	(15)	

※2025年10月1日付で1株を2株に株式分割を行っております。第41期（2022年3月期）の期首に株式分割を行ったと仮定して1株当たり純資産、期末株価を調整しております。1株当たり配当金は分割前の支払実績を記載しており、ご参考として分割後の換算額を表示しております。

2.取り組みを強化する内容

(1)収益性の向上

- ①2028年3月期の新リース会計適用に向けて、減損対策として、不採算店舗の撤退、改善を計画的に進める。
- ②生産性の向上に関しては、キッチンの機械化、厨房機器の改善、来客予測・発注等のAI活用を中心に進める。
- ③原材料価格上昇、人件費上昇を考慮し、商品の品質を落とさず、来客数を落とさない高付加価値商品の開発を追求し続ける。
- ④修繕部門等の内製化を進める。

(2)成長戦略

- ①売上高100億円かつ経常利益率6%以上を早期達成するために、每期新規出店1～2店舗を継続し、大型改装5店舗以上を継続する。
- ②新規出店エリアは、人口の多い埼玉県を中心に、東京都の郊外エリアも検討を進める。出店を加速するため居抜き店舗も検討する。
- ③店舗以外の販売チャネルとしてネット販売、スーパー等への卸も拡大していく。
- ④M&Aも含めて、新業態開発に努める。

(3)安定的な株主還元

- ①今期以降、1株に対して17円以上の配当継続を前提にさらなる増配を目指す。
- ②配当性向、DOE等の配当指標の目標を検討する。

(4)IRの強化

- ①投資家向けの説明会等の機会を増やす。定例的な年2回の投資家説明会に加え、1on1ミーティング、スモールミーティングを実施する。また、東京証券取引所のサービスを活用し、機関投資家との接点を拡大する。
- ②IRサイトの見直し、SNSの活用により、積極的にタイムリーな情報開示に努める。

(5)株式の流動性向上

- ①2025年10月1日付で1株を2株に株式分割を実施した。今後も株式分割や創業者一族の保有株式の一部売却等を検討する。
- ②当社株式の魅力を高め、売買の活性化を図るため、株主優待の内容、付与基準等のさらなる改善を検討する。

以 上